

第7号 まんが王国とつとり 話題あ・れ・こ・れ

巨星逝く

水木しげる先生に感謝



水木しげる先生が平成27年11月30日、93歳で永眠されました。先生のお力を得て境港市に水木しげるロードが誕生したのが平成5年。以来ロードの整備が進み、平成15年には水木しげる記念館がオープン。平成22年にはドラマ「ゲゲゲの女房」の放送効果もあって、年間の観光客数は372万人に達しました。まんが王国とつとりの取組は、水木しげるロードの成功、すなわち、先生の郷土愛を抜きにして語ることはできません。県庁ロビーに置かれた水木先生御夫妻のブロンズ像前で献花した平井伸治鳥取県知事は、「先生の御遺志、御遺徳を引き継ぎながら、ふるさと鳥取県をみんなで守り育ててまいりたい」と決意を新たにしました。



献花をする鳥取県平井知事(左)と齐木議會議長▲

鳥取砂丘コナン空港 がさらにパワーアップ！

平成27年3月1日に愛称化した「鳥取砂丘コナン空港」

が、12月5日にさらにパワーアップしてグランドオープンしました。空港内に再現された喫茶ポアでは、小五郎がゆっくりと佇んでいたり、そして空港内を見上げるとそこには怪盗キッドがっ！また大切な人と訪れたいメモリアルスポットが国際会館屋上に誕生。恋人、家族、友達と訪れたい幸せスポットで記念撮影をお楽しみください。グランドオープン当日は、鳥取砂丘コナン空港でしか見ることのできないスペシャルムービーにゲスト出演しているテツandトモも会場に駆けつけて、知事やコナン君と一緒にセレモニーを華やかに彩りました。さらに鳥取砂丘コナン空港では装飾を見るだけでなく、自らが探偵となって謎を解く空港ミステリーイベント「黄金の二十世紀梨を追え」が登場。より多くの人が楽しめる空港に生まれ変わりました。楽しそうに時間を忘れて飛行機に乗り遅れないように！？



◆スペシャルゲストのテツ and トモさんと一緒に決めポーズをして盛り上がりました

みんなで創る 「まんが王国とつとり」ネットワーク会議設立

鳥取県内でまんがやアニメを活用した取組を進める地域や団体が集まって、「みんなで創る『まんが王国とつとり』ネットワーク会議」が設立されました。境港、米子、北栄、岩美4市町の観光協会代表者とともに発起人となった山陰コンテンツビジネスパーク協議会の長谷川泰二代表理事は、「顔の見えるおつきあいを進め、コンテンツツーリズムに取り組み、鳥取の魅力を拡大していく」と抱負を語りました。同会議では今後、懇談会やセミナーを開催しつつ、活動を練り上げていくこととしています。



▲11月17日の設立総会の様子

近畿高等学校総合芸術文化祭鳥取大会 大会史上初のまんが部門が開催！

2府8県（鳥取・兵庫・大阪・徳島・京都・奈良・滋賀・和歌山・三重・福井）の高校生による交流と研さんを深める総合的な文化発表の祭典が平成27年11月14日～11月22日まで開催されました。今大会では大会史上初のまんが部門が開催され、「ふるさと」をテーマに作品を発表しました。また、韓国江原道アニメーション高校との交流イベントも行われ、まんがを通して高校生たちが交流し、お互いの技術力を高め合いました。



大会公式マスコットキャラクター
「ウサメ・まんが部門 ver.」

まんが王国とつとりの今をお届けする

発行 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1-220
観光交流局 まんが王国官房
TEL 0857-26-7238 FAX 0857-26-8307

まんが王国とつとりの情報をチェック！
Twitter @mangatotori
<https://twitter.com/mangatotori>



名探偵コナン 鳥取ミステリーツアー 大好評のうちに閉幕

JR西日本と連携して平成27年4月29日から実施してきた「名探偵コナン鳥取ミステリーツアー」が平成27年11月23日で大好評のうちに幕を閉じました。原作者青山剛昌先生のふるさと鳥取県が舞台のツアーとして全国から多くの方に楽しんでもらうことができ、全国に向けて「名探偵コナンといえば鳥取県」と印象づけることができました。また平成27年11月28日及び12月5日には、全国放送のテレビアニメで2週にわたり解答編（前後編）が放送され、かなりの難問であった今回の犯人や事件の真相がはじめて明らかにされました。



鳥取県内ではこのミステリーツアーにあわせて新たな「名探偵コナン LAST列車」の運行を始めるなどおもてなし体制も充実。コナン駅（JR由良駅）や青山剛昌ふるさと館そしてコナン通りにはコナンや仲間たちのブロンズ像などが数多く並ぶなどまさに名探偵コナンの聖地ともいえる鳥取。日本中いや世界中のコナンファンのあこがれの地となるようなオーナーの国際リゾートを目指します。「真実はいつも一つ！」。

◆鳥取駅では少年探偵団の砂のフィギュアがお出迎え

人はなぜ観光に行くのか

～「聖地観光」とはアニメという架空世界と現実の接点～

平成27年11月17日、米子市のガイナックスシアターでマンガ・アニメを活かした観光誘客セミナーを開催しました。『あの日見た花の名前を僕はまだ知らない』の埼玉県秩父市などの先進地実例調査を踏まえ、鳥取県のコンテンツツーリズムと聖地観光の可能性について議論しました。「聖地」として成功している地には必ずキーersonがいるという人材の大切さを痛感、今後の課題です。



作品集は
平成28年2月
発行予定！

第4回国際マンガコンテスト 受賞作品決定！

「食」をテーマに募集した今回、応募総数405作品の中から受賞作品が決定しました。

1コマ漫画部門から最優秀賞が選ばれるのも、鳥取県在住者の作品が年齢制限のない賞を受賞するのも4回目にして初めてのこととなりました。また、過去最高となる19の国と地域から応募があり今後ますます世界中に取り組みの輪が広がることを期待します。受賞作品と最終選考作品を収録した作品集は平成28年2月発行予定です。

編集後記

まんが王国とつとりが2012年に建国して、丸4年が経とうという中、水木先生がお亡くなりになりました。まんが王国とつとりは、水木しげるロードという水木先生の大きな遺産のもとで産声を上げました。水木しげるロードは、地方創生の先駆けともいえるオリジナリティあふれる取組で、まんが王国とつとりを牽引していただきました。そんな取組を先生は、「おもしろい。スタッフに妖怪が紛れているのではないか？」などと冗談を交えながら、ただただ大きな心で見守っていただきました。先生がロードを認めてくれたご恩に報いるために、輝きを失わず、むしろ育て上げる、その決意をもってまんが王国とつとりは5年目の節目を迎えます。(n.h)